

周南市陸上競技場全面改修についての請願書

平成27年10月吉日

周南市長
木村 健一郎 様

(提出者)
周南市陸上競技協会 会長：衛藤 憲生
周南市サッカー協会 会長：浅田 和信
周南市ラグビーフットボール協会 会長：吉岡 治

<請願趣旨及び理由>

周南市緑地公園内の屋外運動施設はメイン会場として野球場、陸上競技場の二つの大きな会場を有しており、野球場は、山口国体を契機に大幅な改修を行い新しい施設として生まれ変わっています。

一方の陸上競技場は陸上関係者のみならず、多くの市民の集う場所としての位置付けは非常に重要なものであり、山口県東部の陸上競技、サッカー、及びラグビー等の大会や練習の場として過去には多大な貢献をもたらし、陸上競技の大会では好記録が続発するとともに、優れたアスリートが多く輩出されました。しかしながら、20年程前から国内の主要な陸上競技場の仕様は「全天候型・電気計時」に移行されてきましたが、当競技場は改修されないまま時が経過してしまい、日本陸上競技連盟公認の競技場ではなくなり公式大会の開催が不可能となりました。「公認記録」を求める競技関係者が利用しなくなり、今後も公式大会の開催は見込めない状態にあります。

山口県東部地区に有望選手の活躍の場がないことに陸上競技関係者は非常に危機感を覚えています。もう一度、活躍の場を作り、青少年にスポーツの基本である陸上競技の素晴らしさ・面白さを肌で感じてもらえる場を提供することが、陸上関係者や行政の務めであると考えます。

一方、維新百年公園陸上競技場はサッカーJ3、レノファ山口の本拠地でもあるため、陸上競技の大会開催が困難になってきており、東部地区に中国大会レベルの競技会が開催可能な競技場が強く望まれています。

全天候型やメインスタンドの大型化により集客能力向上や雨天時での競技が楽になり、サッカー・ラグビーはもとより、多くの市民が集う複合施設へと生まれ変わることで競技場としても有効性が更に高くなり中国大会レベルの競技会の誘致にも繋がります。

陸上・サッカー・ラグビー競技関係者をはじめ多くの競技者・市民は、今日・将来のアスリートのための拠点となる「周南市陸上競技場」を全面改修して公認第2種競技場にして頂くことを切に要望するものです。

<請願事項>

1. トラック、及びインフィールドの「全天候舗装型」への改修
2. 電気計時設備（写真判定装置）の設置
3. 第2種公認競技場に必要物品・備品類の整備、及び器具保管庫の増設

<署名欄>

	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※署名対象：周南市民（中学生以上）とします

※住所が同じ場合でも「同上」や「#」と記入しないで、同じ住所を記入して下さい。

※今回ご記入頂いた個人情報については請願活動に対してのみ使用させていただきます。